

日時 令和3年6月30日（火）14：00～16：30

場所 岡山県立勝間田高等学校記念館3階会議室

（委員15名のうち、11名が出席。1名リモート参加）

1 校長挨拶（任命書交付）

- 県立高等学校体制整備計画
- 令和3年度各系列（コース）在籍数
- 委員を依頼するにあたっての根拠
- 【中学校・行政・地域住民】の声
- 令和3年度学校経営計画書

2 出席者紹介

3（1）岡山県立学校における学校運営協議会の設置について

- 岡山県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- 岡山県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱
- コミュニティ・スクール図説

（2）岡山県立勝間田高等学校における運営協議会について

4 会長選出

5 会長挨拶

生徒が自立に芽生えてきたように思う。これは一つの成果であろう。学習内容が地域に発信され理解が深まってきている。この協議会が、未来を担う生徒を育成し社会に送り出す一助になるよう御協力をお願いしたい。

6 本校の現状と課題

- （1）令和2年度の教育活動について
- （2）令和2年度学校評価書について
- （3）令和3年度学校経営計画等について
- （4）令和3年度修学旅行実施の可否について

期日：令和3年10月6日（水）～8日（金）の2泊3日

場所：東京方面（東京ディズニーランド・都内自由行動等）

【議長】

（質問・意見なく、その結果を踏まえて）

今後のことはわからないが、デルタ株の蔓延を考えれば、保護者の意見を聞きながら決定されればと思う。

7 質疑・応答

8 意見交換 (7・8あわせて)

【委員 A】

勝間田の強みの一つに多様な資格取得があると思う。ドローンの資格や重機の資格の取得の現状はどうか。

【高校】

ドローンは今年度 JA 補助事業で購入予定。ドローンの資格は外部機関で 20 万円 20 日かかる資格であり検討に留まっている。小型建設機械・フォークリフト無限定・小型移動式クレーン・玉掛け等の希望者へ講習を行っている。

【委員 B】

生徒が落ち着いて学習や実習に取り組んでいる様子を聞いている。情報発信は中学生や保護者へ有益である。今後先生方とも交流を深めたい。昨今、中学生にとっての進学先高校の選択肢が減少していることを悲しく思っている。

【委員 C】

インターネット等での PR を今後も続け、地元への認知を進めてもらいたい。

【委員 D】

学校の魅力化に関して、本質的な学びとは何かがポイントである。探究活動を通じて生徒は何に気づいているのか、また、農業の魅力はどう発見していくのが重要である。ものづくりやことづくりばかりが表に出てくる傾向にあるが、本当に大切なものはそのプロセスである。プロセスを学んでいけば、問題解決の糸口や対策を構築できるほか、非認知能力（人間力）の育成にも繋がる。各活動のプロセスに着目し、その可視化をすると良さが伝わる。活動や取組みを整理し、なぜその学びが必要であるかを明確にしておく、教育活動のイメージが捉えやすくなる。

【委員 E】

スマート農業が注目を浴びている。進んでいけばいいと思う。個々の活動は素晴らしいと思うが、全体のコンセプトというかストーリーが見えにくい。農業・林業・先進等がキーワードか。SDGs を絡めた位置づけは現在のトレンドである。農業の将来性を訴える企画や県南対象の取組み、県行事への積極的な参加を望む。

【委員 F】

最近の勝間田高校生の落ち着きは顕著である。農業系列希望の入学生が少ない現状があるが、生徒実態に即した生徒募集が必要ではないかとも思う。

【委員 G】

情報発信を行っている。インスタグラムでは生徒のフォローが半分を占めている。魅力の拡散は口コミが基盤であるので情報発信の協力をお願いしたい。

【委員 H】

誰にも負けないものを何か身に付けて卒業してほしい。本校でなければ学べないもの

を PR してほしい。

【委員 I】

魅力の発信は必要。発信先は、中学生、その保護者、小学生、中学校の先生方など多様だが、多方面に伝えなければ魅力は伝わらない。今後農業者への本校 PR や農業に魅力を感じる生徒の体験の受入れ等、協力していきたい。

【委員 J】

先輩保護者からの情報を参考にした経験がある。日常の情報を SNS 等で今後も発信してもらえればと思う。

【議長】

枠にはまった旧来の教育から脱核し、潜在的にもっている個々の力を伸ばすような教育をお願いしたいし、教育制度のあり方自体の再考も必要かと感じている。先進的な学校のあり方をリードできるような運営協議会になればと思っている。

【校長】

学校が発信している情報を受け取った皆様が、それぞれのエリアや分野で話題にいただけたらありがたい。地域のみなさんの地域の高校生を育てるという思いが、「地域の学校」の基盤だと思う。今後ともご意見をいただきたい。

【高校魅力化推進室】

岡山県立高等学校教育体制整備実施計画が平成 31 年 2 月に策定されている。令和 5 年までは地域と連携しながら魅力づくり特色づくりに努力するよう伝えている。今回の魅力化推進事業は学年 3 クラス規模の学校を指定。地域連携組織を作った上で地域とともにどうすれば学校が魅力的になるかを研究してもらっている。能登高校の研究を例に見るように高校の存在はかなりの経済効果をもたらす。地域や企業とともに高校の存続を考えることは重要である。また、将来の地元行政を支える地元人材の育成を考える時代にもなっている。中学生の高校選択には、偏差値や倍率を重視する価値観や雰囲気がある。高度経済成長期に形成された価値観から脱却していく必要がある。社会にある様々な価値観を共有し、地域の皆様と学校の魅力を量る新しい物差しを作ってもらいたい。県教委は引き続き協力いたします。

## 9 その他

- (1) 第 2 回学校運営協議会について 11 月～12 月上旬で調整
- (2) その他